

|      |                |           |              |        |     |
|------|----------------|-----------|--------------|--------|-----|
| 講義名  | 日本文化と社会(1年生のみ) |           |              | 授業形態   |     |
| 担当教員 | Gehrtz 三隅 友子   | 開講期・曜日・時限 | 前期集中 その他 その他 |        |     |
|      |                | 単位数       | 2            | 履修開始年次 | 1年生 |

**主題と概要**

初年次留学生在が、日本文化と地域社会について知るための第一段階の授業である。本講義では、日本文化および神戸を中心とする地域社会の具体的な事例を体験的に学ぶ。寺院、農業、温泉施設、博物館、華道など多様な文化実践を通して、日本社会の歴史的・社会的背景に触れるとともに、見学やインタビューの方法、資料の読み取り方、発表の基礎を身につける。最終的に、自らの気づきを整理し、プレゼンテーションを行う。

**到達目標**

見学や体験を通して得た情報を整理できる。  
 専門家の説明を理解し、要点をまとめることができる。  
 図鑑等や資料を活用し、必要な情報を調べることができる。  
 PowerPointを用いて3-5分の発表を行うことができる。  
 他の学生と協力し意見交換しながら協働学習ができる

**提出課題**

地域のフィールドワークに関するレポート、1) 次山寺周辺 2) 神戸南部  
 自らが気づいたポイントを説明するパワーポイント作成及び発表

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

レポート等に対しては提出し修正したものを授業内で発表  
 パワーポイントによる発表  
 教師による評価とクラス内で学生同士の評価

**評価の基準**

出席60%レポート及び発表40%  
 さらに評価ポイントは以下の3点とする。  
 体験した文化に対して、自らの興味と理解が深まっているか  
 企業家の取り組みや考えを理解できているか  
 協働学習の態度が保てているか

**履修にあたっての注意・助言他**

・学外へのフィールドワークは学習です。大学生として場のルールを守ること。  
 ・学内ではいろいろなワークショップを体験します。積極的に参加してください。  
 ・クラスの中でわからないことや困ったことがあったとき、教員に相談してください。  
 ・クラスのメンバーで協力して一緒に学んでいきましょう。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

本シラバスの記載内容（特に訪問先や体験項目）は2026年2月現在のものです。4月以降の地域との関係機関との交渉をします。そのため訪問先や内容に関して変更がある可能性があります。5月連休明けには受講者に予定等の連絡をします。

**授業計画**

- 5月23日(土) 1 - 5  
 授業オリエンテーション  
 フィールドワーク1、学農都市(次山寺、なでしこの湯、近隣農家)  
 振り返り レポートの準備 インタビューの方法  
 次回の準備 津ミュージアム・市立博物館・南京町(予定)  
 予習内容: 学農都市周辺の情報から、わからない日本語等を調べておく(120分×5回)  
 復習内容: 体験学習から学んだことの確認、発見や新たな質問をレポートにする(120分×5回)
- 6月6日(土) 6 - 10  
 フィールドワーク2、津ミュージアム・市立博物館・南京町  
 振り返り レポート及び発表の準備  
 予習内容: 博物館等の情報確認、わからない日本語等を調べておく(120分×5回)  
 復習内容: 体験学習から学んだことの確認、発見や新たな質問をレポートにする(120分×5回)
- 6月21日(日) 11 - 15  
 前2回から発見したこと、自国との比較等のプレゼンテーション発表  
 他者の発表内容を聞く 録音する  
 録音を見て、自らの発表を自己評価  
 華道体験 華道についてミニ講義 大学にフワワーク(華道のオブジェを作成して展示)  
 学生を通しての振り返り  
 11月の大学祭へのグループ発表のヒントとして可能性を考え出し合う  
 予習内容: 前2回から発見したこと、自国との比較等のプレゼンテーション準備(120分×5回)  
 復習内容: 体験学習から学んだことの確認と録音した動画を見て自らのプレゼンテーションを振り返り、改善のポイントをわかむ(120分×5回)

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| ア: PBL(課題解決型学習)                       | イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ: ディスカッション、ディベート                     | エ: グループワーク                                  |
| オ: プレゼンテーション                          | カ: 実習、フィールドワーク                              |
| キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) |   |

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

留学生対象を対象とした科目群で、文化知識及び語学力を修得するとともに、仲間と協働して物事を成し遂げることができ、日本企業を見学することで、その知識と体験を日本での就職活動に活かすことができる。また新しい視点と豊かな表現によって、新しい価値を生み出すことができる人材を育成する科目である。ディプロマポリシーからは創設者中内功の「ネアカのびのびへこたれず」にしたがって、自由な発想で新しい世界へ進むイノベーションで取り組むことが望まれる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**